

河城地区 市政懇談会

日時 平成 19年 8月 4日 19時 30分から

会場 河城地区センター

参加者数 57人

懇談 (質疑応答)

西富田自治会より

富田公文名線拡幅工事が平成 21年度には完成予定とのこと、ありがとうございます。

要望ですが、西富田茶農協より七富神社までの道路拡幅工事をお願いします。この道路は小中学校の通学路にもなっています。朝晩は部落外の車が非常に多くて、朝、特に子供達は難儀をしています。事故が起きてからでは遅く、自治会としても責任を感じます。よろしくお願いします。

市長

今の道路につきましては、大変申し訳ありませんが今年度、来年度の事業計画には入っていません。3か年計画でやっています、ローリングをやっておりますので、地元の皆さんと協議しながら進めさせていただきたいと考えております。今の時点では公文名富田線を1年でも早くやるように、担当の方に指示をしております、それが出来た時点で、それからの道は検討させていただきます。

富士見台自治会より

菊川東中の下の県道 79号から、うち団地及び牧之原に通じる道路の関係ですけれども、私が菊川に住んで9年になります。それよりも30年ほど前、ゴルフが好きで始めて、菊川カントリーのコースが良くて、住むなら菊川ということで9年前にこちらにお世話になりました。今通っている道も30年前から道路の形状がほとんど変わらず、交通も非常に多くて、子供達も通学に気を使っている感じを受けますので、何らかの形で道路が広がればと思い質問させていただきました。

和田公園ですが、以前は遊具などもたくさんあったような感じを受けましたが、歩いて見ますと遊具はありません。遊具の事故が増えていて、理解もできるんですけども、出来るだけ身近なところの公園の遊具の設置を。簡単なものでも結構ですので、遊具の充実をしていただければありがたい。よろしくお願いします。

市長

吉田大東線に下りる道につきましては、富士見台の皆さんから強い要望をいただいております。この事業は吉田大東線のアクセスするところの、色々な事情がありまして、吉田大東線が先に整備されないと難しいと思います。しかし、以前からこの道

路は通学路と言うことでありますので、出来る限り法面の整備とか、そういうことをやらしていただいております。河城に来る度にこの話をいただいております、私もあそこを通る時に子供さんたちが上から下りて来ると、危ないなーと気にしておりますので、出来る限り改良の方を進めさせていただきたいと思っております。

和田公園の遊具の件であります、今、お話が有りましたように、2、3年前にこの周辺でも事故が有りました、和田公園につきましても、そういう点から修理をするか、あるいは取るかとか、色々な条件のなかで、判断に至ったわけです。菊川市内にはたくさんの公園がありますが、今後の管理とか公園の特徴等を考えた場合、どこに行ってもブランコと滑り台が有るということではなく、それぞれが特徴のある、これからの公園のあり方というものを、考えていかなければならないと思っております。都市計画課、施設管理課が所管しておりますが、内部で話をしながら、これからの公園の活用について、調査研究していきたいと思っておりますので、よろしく願います。和田公園は菊川市においても代表的な公園ですので、有効活用させていただきたいと思っております。

潮海寺自治会より

1点目ですが、平成17年度から国のまちづくり交付金事業に取り組み、市の都市計画課に手取り、足取り指導をいただくなかで、順調に推移しております。潮海寺地区にとりましては、かつてない区画整理事業的な地区事業が進捗をしております。区域内では、今期の事業を進めるなか、いわゆる第一期の事業が、平成17年度から21年度までの予定で進めていただいております。つきましては地区計画において、まだまだ残された路線がかなりあるわけでございまして、そのようななかで、第二期、いわゆる平成22年度以降の次期の事業につきましても、是非採択いただけるように、行政からの手当て、支援をお願いしたいと思います。地区計画の新しい道路が出来てまいりまして、地区外からの交通量がふえてまいりました。しかしながら道路が出来ることによりまして緊急車輛等の通行も便利になり、大変ありがたい、是非その点をお願いいたします。

第二点目の道路の関係であります、いわゆる空港関連の県道吉田大東線の関係です。10年以前前ですが都市計画道路と併用しております、駅前通りが終われば継続的に東へ来ていただけるというような説明をいただいた経緯があります。以後経済状況等が変るなかで、潮海寺の入口付近から谷田部の橋の間、未整備区間が整備されないまま現状に至っております。住居家屋移転も伴います。一般的な住居が4軒、あと倉庫等があります。そういう状況ではありますので、土地を提供していただく、あるいは移住していただく方にとりましては、大変ご迷惑な話かと思っておりますが、やはり空港関連の一環という事情もあるようでございます。駅前からの喉元でございまして、是非とも県事業で早期に着工できるように、お計らいをいただきたいと思います。

います。

三点目であります、潮海寺地内に旭テックの最終処分場がありますけれども、今年に入りまして、6月、7月の2度にわたり、この最終処分場から汚濁水が前田川、菊川へ流出しました。自治会も平成4年、当時の町長さんの立会いのもと、旭テックとの間で協定が結ばれております。今まで何事も無く順調に進んでまいりましたが、にわかに2度ほど、こんな事実が出てまいりまして、先般も市の方へは、旭テックに対する行政指導、旭テック側には再発防止の対策、この辺についてお願いをしてまいりました。そういうことで現在旭テック側も、誠意を持って対応していただいております。是非、土地利用の一環でありますので、行政の方からも指導をいただいて、汚濁水が流出することのないように指導をお願いします。

市長

まちづくり交付金事業についてであります、潮海寺地区のみなさん、まちづくり推進協議会の皆さんが中心となって先進的な事業に取り組んでいただいたことに、私の方からもお礼を申し上げます。40%国の補助金が出るという事業でありまして、期限的に5年間という制約があり、まさに5年間で投資効果を出さなくてはならない事業であります。そういったなかで、地元のみなさんのご理解をいただき道路整備などが進められていて、評価をいただいているのではないかと思います。これから地元の皆さんがさらに、そのような形でということになれば、当然、まちづくり推進協議会の皆さんが中心となっていただいて、これからの調整を行政とさせていただいて、それができれば国、県の方と話し合いをしていきたいと思っております。交付金事業に採択されるよう私達も取り組んでまいりますので、よろしく申し上げます。

2点目の吉田大東線、これも非常に重要な事業であります。あと370mほどありますが、この区間が完成すれば、都市計画道路として吉田大東線は、ひとつの大きな一歩が出るわけであります。今、お話がありましたように静岡空港に対しては、河城地区の皆さんの大変なご理解と、ご協力が県の方にも届いておりまして、あと2年間でこの事業が終わるわけありますから、私の方も職員に、県に対して吉田大東線あるいは空港関連の事業について要望するように指示をしているところであります。県と話し合いをしながら、この県道整備については空港のアクセス道路として進めて行きたいと思っております。また都市計画道路の区間は、地域の皆さんの協力がなければ出来ません。私どもも県の方に積極的に働きかけをいたしますので、地元の皆さんのご協力を賜りたいと思っております。

3点目の旭テックの件であります、大変皆さんにご迷惑と心配をかけて、申し訳ないと思っております。協定の中で害のあるものを埋めないということとなっておりますし、それを旭テックさんの方がきちっと守っているということを聞いておりますので、ひと安心しているところでありますが、やはり、漏水したことは大きな問題であります

ので、県と連携をするなかで、旭テックさんへの指導あるいは話をしていきたいと思っております。この点につきましても、自治会の皆様のご協力をお願いいたします。

友田自治会より

県道吉沢金谷線の新幹線ガード付近の交通安全についてであります。その前に鎌倉橋の歩道橋を完成していただきありがとうございました。県道吉沢金谷線の友田新幹線ガード下ですが、見通しが悪いうえに幅員が狭く、西原組の入口もあり、今まで数回の交通事故が発生しています。このガードの前後には歩道が整備されておりますが、このガード下は幅員が狭く、歩道が取れないために歩行者が大変危険な思いをしています。このような状況のなか、本年5月下旬に県及び市により側線上にポールを設置していただきました。歩行者はある程度安心して歩行できるようになりましたが、ガード下がカーブをしているためドライバーはポールをよけて中央側に張り出し、対向車と接触する恐れがあります。以前ですが接触事故も発生しております。友田地区の要望ですが、このガード下の幅員が狭いこととスピードを落とすことを両方向からのドライバーにわかるような安全対策をお願いしたい。現在、追越し禁止のセンターラインがガード下まで引かれていますが、変電所辺りまでとし、ゼブラゾーンを設けて事前に幅員が狭くなることをドライバーに知らせ、スピードを控えさせることや、標識の設置等で交通安全対策をお願いしたい。最良の方法は、新幹線の橋脚側に道路の拡幅が出来ればと考えますが、何らかの道路改良が可能なのか教えて下さい。

市長

たしかに、私もよく通るところです。倉沢方面から下りて来た、友田の新幹線のところですね。そう言われて心当たりがあるところです。戻りまして、担当部局と警察の方と話をします。県道ですので、県の方にも話をします。応急的なものが出来るものはやりますし、抜本的のことであれば、県の方にも話をしたいと思えます。

沢水加自治会より

沢水加地区から沢水加川の中上流部の河川改修とコミュニティバスについて質問をさせていただきます。河川改修ですが沢水加川の下流部につきましては、市や県の努力によりまして、堰の無い自然に配慮した工事をしていただきました。今年、昨年あたりは、蛭がたくさん出まして、今年の6月には河城小学校の4年生が総合学習で川に学習にきました。掛下橋から上流部についてですが、河川改修を希望しておりますが、473号線バイパスの完成も間近かということで、水の流れも変わるのではないかとということで、災害が心配です。掛下橋から上流部についての河川改修計画について教えていただきたい。

高齢者や車のない方にとって、本当にコミュニティバスはありがたいもので、生活上、不可欠なものとなっています。沢水加線のバスですが、午後の終点が河城地区

センターとなっています。沢水加、畑無の方は午前中しか利用できません。病院に行くとちょっと長引き、乗れなかった時はタクシーを使ったりして、不便だとの声が高齢者の方からありました。終点を延長するとか、善処していただきたい。

市長

沢水加川の改修の件ですが、沢水加、倉沢の皆さんには、473の道路整備、土砂災害防止の工事、ダムに大変なご協力をいただきました。話を聞いておきまして、その当時を思い出しました。あの時、皆さんにご協力をいただきまして、473号線の工事が順調に進められていることを、本当にありがたく思っております。沢水加川の上流部につきましても、473号線の関連ということで、私達も県に話をしております。沢水加の改修同盟会と自治会と話をさせていただいて、県の方へ強く要望を出していきたいと思っております。

コミュニティバスの件ですが、私の記憶では、7コースありますが、河城地区が一番利用率が高いと思っております。黒字にはなりません、7路線のなかでは一番ご利用いただきまして、大変うれしく思います。コースを決めるには、警察とか民生委員さんとか色々な皆さんに入ってくださいまして、検討委員会で一年半位かけてコースを作りまして、広報しております。各所から色々な要望とあります、提案が来ております。当然使っていただく皆さんが、喜んでいただくことが、第一ですので色々な要望を集約をさせていただきまして、近いうちに委員会を開催させていただいて、そのなかで、来年に向けての見直しをさせていただきたいと思っております。基本的に途中での軽微な変更ならいいですが、大幅な変更をしますと、逆に市民の皆さんにご迷惑を掛けてしまいますので、可能であれば来年から、そういったことにも対応させていただきたいと思っております。沢水加の皆さんにはもう少し我慢をしていただきたいと思っております。

西富田 男性

今年の春、家の孫が東富田の立ヶ谷の橋の手すりから落ちました。ちょうど中段に1m位の幅の段差があったもので、川の下までは落ちなかった。それから10日位したら、六郷小かどっかの小学生が火剣山へ行くといい、その奥の橋のところで、また子供さんが落ちました。そこは大井川用水が流れてたもんですから、下流に10m位流されて、命には別状がなかったですけども、そういうことがありまして落合議員さんをお願いして、対策をしてもらったんですけども、どこの橋も手すりは川幅だけに付けてあるものですから、それから10センチいったところには、手すりが無い。子供はよりそって、ころがってたいがい川に落ちる。そういう設計というか、どこの橋もそうなっている。もう少し手すりだけ、1m伸ばしてぐれば、そういうことはなくなる気がします。これから新しい橋を作ったりする時に、そういう設計やこういうことを考えていただければいいと思っております。

司会 (地域支援課長)

ご意見でよろしいでしょうか。

西富田 男性

良いです。

潮海寺 男性

多くの市民の収入は減っているのではないかと考えております。いわゆる格差社会、これが進んでいるということになるわけですが、広報きぐわの紙面で税制改革による税源移譲で、住民税と所得税の割合が変り、トータルで税負担は変わらないというお知らせが大きく掲載されておりました。そんなわけで私もあーそうかと安心しておったわけですが、よく注意して見ないと見落とすような小さく書いてあった、定率減税の廃止、全廃により、私の場合も変わらないどころか、住民税と所得税を相殺しても大幅な税負担となってびっくりしたわけです。ここに見えてられる皆さんも多分同じだろうと思います。さらに来年から始まる後期高齢者の医療制度による保険料の大幅負担増などで、私は75歳になって医療すら受けられなくなるのではないかと心配されます。そこでお尋ねしますが、今回、税制改革による住民税の増税の増収分がどの位になるのか、また、それをどのように使いたいと考えているか。菊川市独自の住民税の減免制度とか医療保険料の減免制度の拡充の考えは持っているのか、その辺りをお聞きしたいと思います。

それから予想される東海地震の件ですけれども、中越沖地震の何倍かの大きな被害をこの東海地震では受けるだろうと予想され、警告している方が多い。私も大きな不安を抱えています。地震による原発の放射能被爆被害も含めてであります。柏崎刈羽原発の深刻な被害実態は、国も度々大丈夫だと、勿論電力会社も言っているわけですが、そういついた安全性が根底から否定された。そういうことを如実に示したデータが出ていると思います。私もこの間、菊川市議会で行われた、浜岡原発安全協定の見直し、再調印についての市議会の全員協議会を傍聴したわけですが、各議員の発言を拝聴させていただきましたが、昨日の静岡新聞の社説をご覧になった方もいるかと思いますが、そこには全国にある全ての原発は、各電力会社と地元自治体との安全協定に地元自治体との事前了解を必要とする規程が明文化されている。ですから、この際安全協定に事前了解条項を入れ込むべきだと言う。これは私どもとして当たり前のことではないかと思うんですけれども、実際には御前崎市長を始めとして、最近突然公表されました、安全協定についての4市統一解釈書なるものがある、これで実質的に事前協議をで出来ることになる。これは本当かどうか分かりませんが、解釈ですから。そういうことを鵜呑みにして、安全協定本文に、事前了解事項を新たに盛り込むことに消極的な態度を取る。これにさらに、足並みを強めて、早く結論を出したいと。こういう報道がされておりますけれども、それについて

お尋ねしますが、なぜ安全協定本文を見直して、事前了解規定を明文化しないのか。その理由があれば是非お話していただきたい。先程いった統一解釈書にあるから良いと言ったことでなくて、本文になぜ入れないのか。それから住民への説明責任が極めて不十分なまま、急いで今月中に結論を出したい理由は何なのか。これについてもお聞かせいただきたい。住民の全ての命、健康に大きな被害をもたらす事になるだろうと言われる、重大なことです。私達市民が誰もが納得できるように、わかりやすく答えていただけないでしょうか。

それから、去年の9月21日の菊川市議会で菊川市平和宣言が採決されています。その後の動きとしては戦前への回帰するという動きが活発になっておると思います。こういうことなかで、私としての提案ですが、菊川市の平和都市宣言を外に向けて発信する、具体的な行動が必要だと考えます。お蔵入りさせるのではなく、何らかの形で示す必要がある。例えば隣の掛川市では市役所のところに、像が立っている。だから菊川の場合も、市役所とか市役所小笠支所などに像を建てて、菊川市平和都市宣言の顕彰をする、あるいは広報とかホームページでの紹介は、今直ぐからでもやろうと思えば出来ることなんで、費用も100万円足らずで十分出来るという事ですから、そうしたことは直ぐにやるべきではないか。お蔵入りさせることは何にもならない。こういう時代だからこそ、平和があってこそ緑豊かな次世代ということが言えるということで有ろうと思います。

最後に新しい教育長さんがお見えになっておりますので、お聞かせいただきたいですけれど、前の教育長さんは平和憲法と改正される前の教育基本法は一体のものである。教育は国家のためにあるのではなく、憲法の理想、精神を実現するための教育、つまり主権在民である国民のために教育はありますと、そういうふうに認識しておりますから、それを擁護、重視すると明快に述べています。新しい教育基本法の教育が強行されておりますが、教育長さんは最高法規である憲法の精神にのっとりて教育行政を進める考えでしょうか。これについてお答えいただければと思います。最後に要望ですけれど、菊川市のホームページは、すごく分りにくい、読みにくい。中身もあまりよくないという評判を良く聞きます。僕もやってみたところそうです。ですから、もっと利用しやすい、市民のためになるように、改良する必要があるかと思えます。ですから業者丸投げのホームページを作るのではなく、もっとII、これから情報化時代に進むわけですから、IIIに詳しい職員を養成するか、あるいは採用するように、是非お願いしたい。それから、市政懇談会の内容等については、ホームページ或いは市政だよりですか、そういうもので詳しく、いつも出していると思いますが、もう少し詳しく出してもらえるとありがたいということです。

市長

まず、税金の関係であります。国の税制改正によりまして、皆さんに大変迷惑を

かけました。国の考え方で、所得税と住民税につきましては増税ではないという見解であります。そして今言われた定率減税、これは又別の、定率減税が廃止されたということで、これにつきましては定率減税が無くなったわけですから、皆様のご負担になったということで理解をしております。医療費等に対して、市からは税金で負担をしていないかということですが、例えば国民健康保険におきましては、年間4千万円が一般会計から国民健康保険へ支援をしておりますし、そういったなかでは負担の軽減、例えばの話ですが、国民健康保険の方には、負担をして税率を下げるというようなことを議会のご理解をいただくなかで、取り組んでおります。

地震につきましては、先般の地震は私達に取りましても、人事ではないということで、気持ちを引き締めて取り組んでいかなければならないと思います。今、安全協定の話も出ましたが、この安全協定というものは、地域住民の健康を守るという一つの大きな目的があるわけありますから、そのために4市のなかで十分協議して、市民の皆さんに不安を与えない、そして原子力に対して、きちっと私達が物申せるという形での立場というものを、これからきちっとして行きたいと思っております。特に事前了解という言葉、あるいは地震の話とか、プルサーマルの話とか色々出るわけでありまして、たまたま今、安全協定の話とプルサーマルの話と地震の話が重なっているわけでありまして、それを一つひとつ、私達は市民の皆さんに説明をしてご理解をいただいて、議会の皆さんにもご理解いただくなかで、取り組んでまいります。プルサーマル計画につきましても、国策と言えども、隣接市につきましても十分な情報公開、あるいは中電、国の考え方というものを、色々な形で市民の皆さんに、お話を聞いていただく機会を作っていきたいと思っております。地震につきましては、先般の中越沖地震は原発を近くに持つ市民の皆さんにしてみれば、非常に心配になることありますから、今後国、中電と色々話をし、慎重に取り組まなければならないと思います。

また、平和都市宣言であります。これはたしか先般、さんから言われまして、議会の方で採決されたものであります。平和都市、平和であることは誰でも願うことありますから、市民の皆さんに分っていただくような、理解をしていただくような、そして近隣の皆さんにもわかるような形で、今後取り組んでいきたいと思っております。

税収のどれだけ増えたかにつきましては、担当の方から説明させます。

教育長

最初に少しお礼を。教育委員会の諸行事に対しまして色々ご協力をいただきまして、本当にありがとうございます。教育のことについてどう思うかとのお話がありましたが、教育は誰のためにあるかと言えば、それは勿論国民のために有ると思っておりますし、菊川市で言えば教育は市民、そして子供達のためにあると思っております。したがって当教育委員会では、市民や菊川市の子供達に対して、憲法の精神と教育基本法の趣旨にのっとり、教育を進めていきたいと思っておりますし、前任の教育長

と同じ考えであります。

総務企画部長

財源移譲によります市県民税の増額分について質問がありましたが、約6億円増えとの試算であります。税源としては6億円増えるわけですが、やはり交付税等は減額になってまいります。こういってことで、この使い道等につきましては、やはり三位一体の改革等、こういったもので、補助金等も減ってくるというなかで、この6億円をどうして使おうかという使い道につきましては、先程市長がおっしゃったとおり財源が苦しいなかでやっておりますので、これからの実施計画、総合計画等のなかで、使い道を決めていきたいと考えております。

沢水加 男性

お願いをしたい。河城保育園の耐震工事が、今年秋からやってもらえるということになったようですが、国の方から入ってくるのか、予算はどのくらいですか。国の方から貰えれば市が助かります。地震が、今、大変多いということで、園児がいるなかで工事をしなければならぬということになります。よろしくお願いします。

10年後、20年後の菊川という話がありましたが、20、30年前に畑総に、菊川は取り組んでいただき、今年度計画すれば、大体事業が完了ということとなります。長い間、ご努力いただき河城方面はこれで道が出来ましてありがたいことです。これからの10年後、20年後どうするか。国道が通っているのはどこだと言えば、473号線だという話をしました。ある人に聞いたら道の駅を菊川の管轄のなかに作ればいいじゃないかと。もっと早く国道を作る時点で話が出たなら、何らかの手は打てたかも知れませんが。皆さんご存知のように掛川は非常に繁盛している。空港だけでなく473号線は第二東名に将来的にはつながるだろうと思うんです。早くそういうものを菊川市も何らかの形で立ち上げて、将来的に残るようなことを是非お願いします。

市長

10年後、20年後のことを皆さんに話をさせてもらいたいと思います。この地区は私達が思っている以上に注目度が高いと思います。開発するだけが良いわけではなく、お茶という菊川の特産も大切でありますから、そういったことをこれから、時間を掛けて、この地域をどのような地域にしていくか、まさに、地区センターあるいは自治会を中心に、色々な話をさせていただければ、ありがたいと思います。道の駅、そういった未来に向かっての話をさせてもらおうと、私どももありがたいものですから、是非、新しい提言をお願いします。